

二九九五番

逢あふよしの 出いで来くるまでは 畳たたみ薦こも 隔へだて編あむ
数かず 夢いめにし見みえむ

二九九六番

しらかつく 木綿ゆふは花はなもの 言ことこそば 何い時つのま
さかも 常つねわす忘わすらえぬ

二九九七番

石上いそのかみ 布留ふるの高橋たかはし 高たか々たかに 妹いもが待まつらむ 夜よ
そふけにける

二九九八番

湊みなと入いりの 葦あし別わけ小舟をぶね 障さはり多おほみ 今いま来こむ我われを
淀よどむと思おもふな